LogSuke

LogSuke Controller

取扱説明書

このたびは、多機能データロガー 『LS1000』をお買い上げいただき誠に有り難うございます。
このマニュアルでは本製品の取り扱い方法や使用上の注意点について説明しております。
ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。
お読みになったあとは、必要なときお読みください。

ご注意

・本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されております。
・本製品は機能追加、品質向上のため予告なく仕様を変更する場合があります。
・本製品の運用を理由とする損失、逸失利益など、いかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承願います。

大阪マイクロコンピュータ株式会社
第 3版
2011.07.19

目次

1 概略 1
2 ドライバのインストール／設定 1
2.1 ドライバインストール 1
2.2 ドライバ設定 2
3 LogSuke Controllerのインストール 3
4 LogSuke Controllerのアンインストール 3
5 LogSuke Controller起動方法 4
6 LogSuke Controller操作説明 4
6.1 コントロールパネル 4
6.2 記録画面 6
6.3 データ画面 7
Allタブ 8
データ変換 9
リスト印刷画面 10
グラフ印刷画面 11
6.4 リアルタイム測定 12
6.5 本体設定画面 13
6.6 シークレット画面 14
6.7 センサー認識名称画面 15
6.8 メイン画面　メニュー 15
7 動作環境 15

1 概略

LogSuke ControllerはLS1000の設定や記録データのダウンロードを行うアプリケーションソフトです。
LS1000をパソコンのUSBインターフェースへ接続することにより使用できます。

> LS1000の機能詳細は「LS1000 操作説明書」をご参照ください。

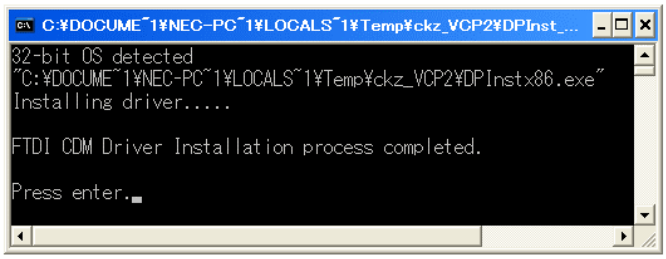
2 ドライバのインストール／設定

LS1000はRS232C→USB変換チップを内蔵しており、ドライバのインストール、設定が必要です。

2.1 ドライバインストール

ドライバインストールプログラムを実行します。

ドライバソフトの“CDM＊＊＊＊＊.exe“を実行します。
（＊はバージョン番号）

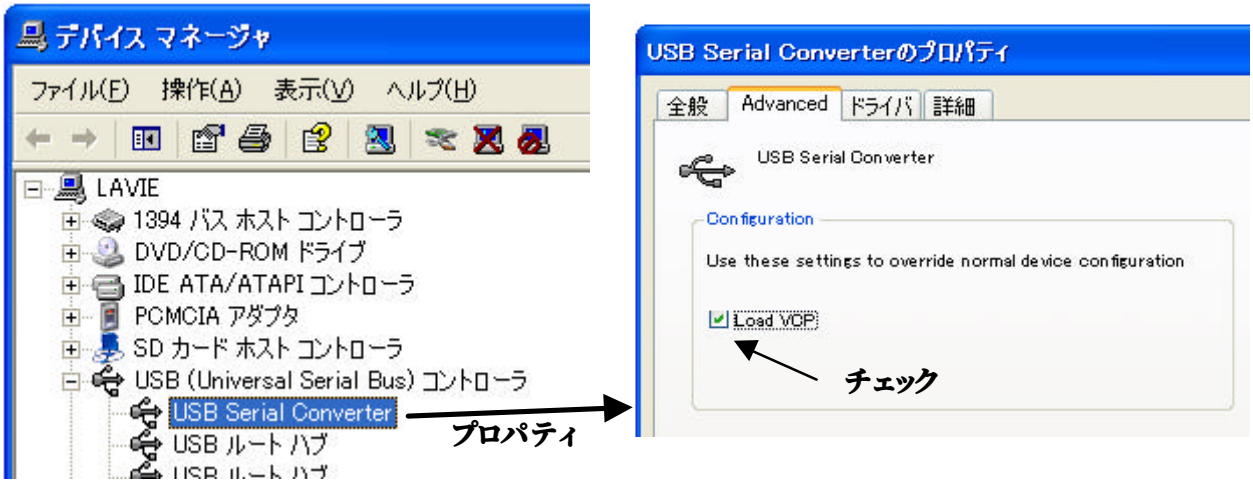


このウィンドウは自動的に閉じます。
閉じない場合はEnterキーを押し、
ウィンドウを閉じてください。

2.2 ドライバ設定

①Load VCP設定

LS1000をパソコンに接続します。
ﾃﾞﾊﾞｲｽﾏﾈｰｼﾞｬ→USB(Universal Serial Bus)ｺﾝﾄﾛｰﾗ→USB Serial Converter
のプロパティを開き、Advancedタブの “Load VCP ”をチェックします。



②LS1000をパソコンから取り外す

LS1000を一度パソコンから取り外します。

③LS1000をパソコンに接続

LS1000を再度パソコンに接続します。
ﾃﾞﾊﾞｲｽﾏﾈｰｼﾞｬ→ﾎﾟｰﾄ(COMとLPT)にUSB Serial Port(COMxx)の表示
がある事を確認します。

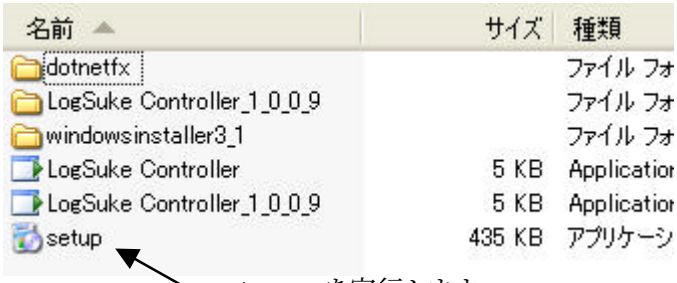
デバイスマネージャの表示方法は下記のとおりです。※OSの設定により異なる場合があります。

•WindowsXPの場合
ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝ→ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ→システム→ﾊｰﾄﾞｳｪｱ→ﾃﾞﾊﾞｲｽﾏﾈｰｼﾞｬ

•WindowsVista／Windows7の場合
ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝ→ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ→ﾊｰﾄﾞｳｪｱとｻｳﾝﾄﾞ→ﾃﾞﾊﾞｲｽﾏﾈｰｼﾞｬ

3 LogSuke Controllerのインストール

セットアッププログラムを実行



setup.exeを実行します。

インストールを選択

既に古いバージョンのLoguke Controllerがインストールされている場合は、アンインストールの後
セットアッププログラムを実行してください。

4 LogSuke Controllerのアンインストール

コントロールパネルよりアンインストールしてください。

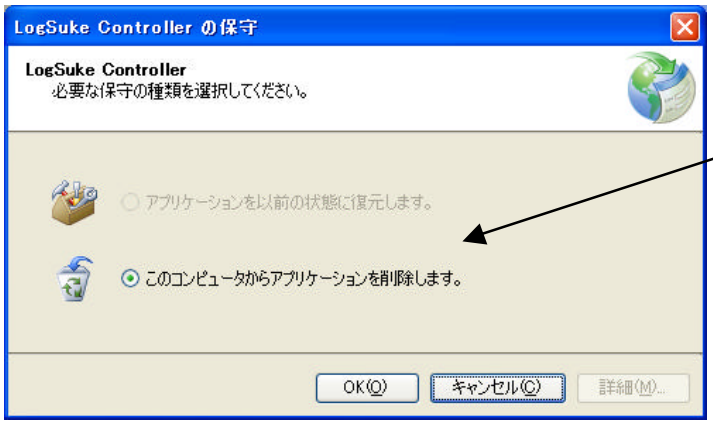
・WindowsXPの場合

ｽﾀｰﾄ→ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ→ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの追加と削除→LogSuke Controller→変更と削除→
LogSuke Controllerの保守

・WindowsVista／Windows7の場合

ｽﾀｰﾄ→ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ→ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑのｱﾝｲﾝｽﾄｰﾙ、(またはﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑと機能)→
LogSuke Controllerを選択し、一覧上部のｱﾝｲﾝｽﾄｰﾙと変更→LogSuke Controllerの保守

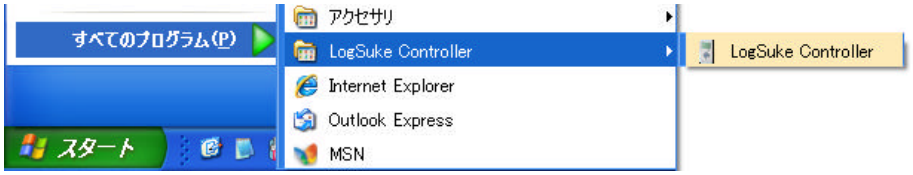
※OSの設定により異なる場合があります。



「このｺﾝﾋﾟｭｰﾀからｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝを削除します。」
を選択しOKボタン

5 LogSuke Controller起動方法

スタート→（すべての）プログラム→LogSuke Controllerより実行します。



XPの場合

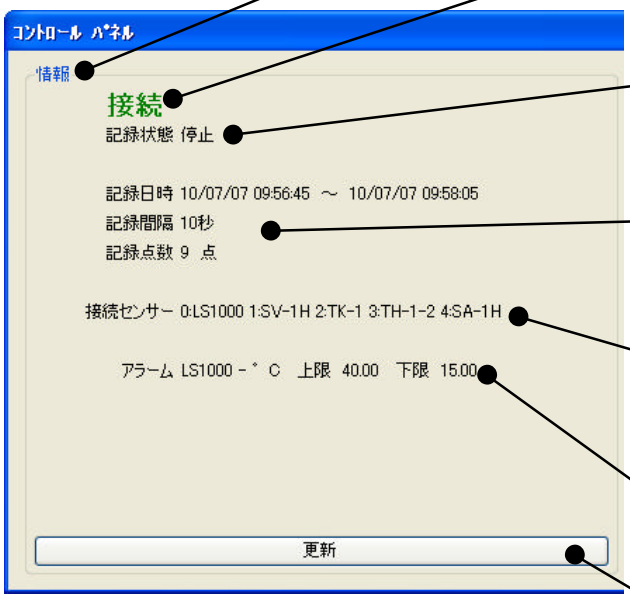
6 LogSuke Controller操作説明

LS1000をUSBポートに接続すると自動的に通信を開始します。

・複数のLS1000を同時に接続しないでください。
・LogSuke Conntoroller使用中、LS1000本体のスイッチは使用できなくなります。
・LS1000をUSBポートに接続しても通信が開始されない場合は
　「2 ドライバのインストール／設定」が正しく行われている事を確認してください。
・LogSuke Conntoroller起動中にWindowsが省電力ﾓｰﾄﾞ(ｽﾘｰﾌﾟ/ｽﾀﾝﾊﾞｲ/休止状態)へ移行すると復帰後、
　正常に動作しない場合があります。
・LS1000の機能詳細は本体の操作説明書をご参照ください。

6.1 コントロールパネル

LS1000の設定やダウンロードはコントロールパネルより行います。



情報
LS1000の情報を表示します。

接続状態
接続状態を表示します。
（未接続／通信中／接続）

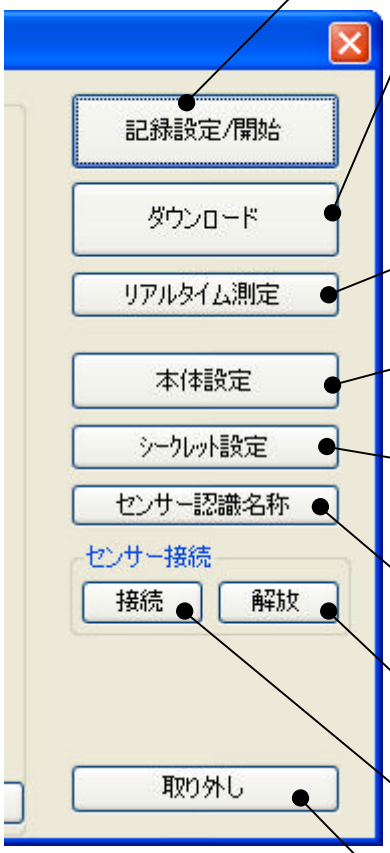
記録状態
記録状態を表示します。
（停止／記録／記録開始予約）

記録データ情報
記録されたデータの情報を表示します。
（記録日時、記録間隔、記録点数、予約日時等）

接続センサー
接続中のセンサーを表示します。
（LS1000本体を含む）

アラーム
アラーム設定を表示します。

更新ボタン
LS1000から最新の情報を取得します。



記録設定／開始ボタン
LS1000のログ記録設定を行います。

記録終了／ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ／記録開始予約終了ボタン
・記録状態が 停止」の場合
記録データをダウンロードします。
・記録状態が 記録」の場合
LS1000のログ記録を終了しデータをダウンロードします。
・記録状態が 記録開始予約」の場合
記録開始予約を取消します。

リアルタイム測定ボタン
リアルタイム測定を開始します。

本体設定ボタン
各種設定を行います。

シークレット設定ボタン
シークレット設定を行います。
シークレット設定にはパスワード入力が必要です。

センサー認識名称ボタン
センサー認識名称の変更を行います。

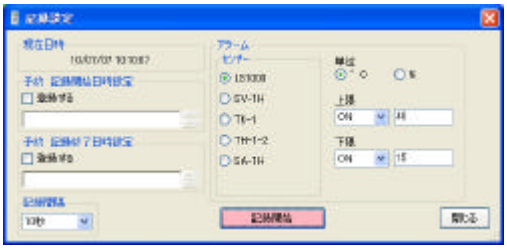
センサー接続 開放ボタン
外部センサーを開放します。

センサー接続 接続ボタン
外部センサーを接続します

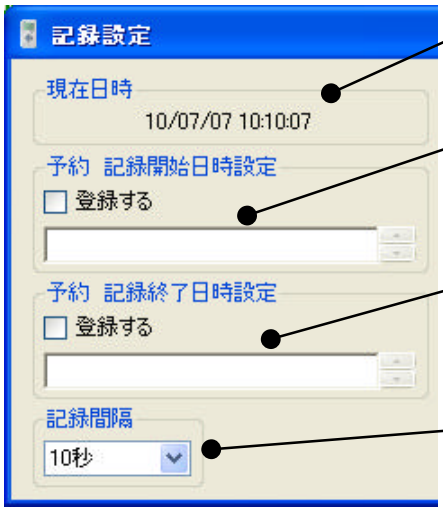
取り外しボタン
LS1000を取り外すことが出来るようにします。

- 外部センサーの取り付け、取り外しは必ず外部センサー開放後に行ってください。
- ダウンロードデータはデータ画面に詳細表示されます。
- LS1000を取り外す場合は必ず取り外しボタンを押し、 接続機を取り外すことが出来ます。」のメッセージが表示された後に取り外してください。

6.2 記録画面



LS1000のログ記録設定を行います。

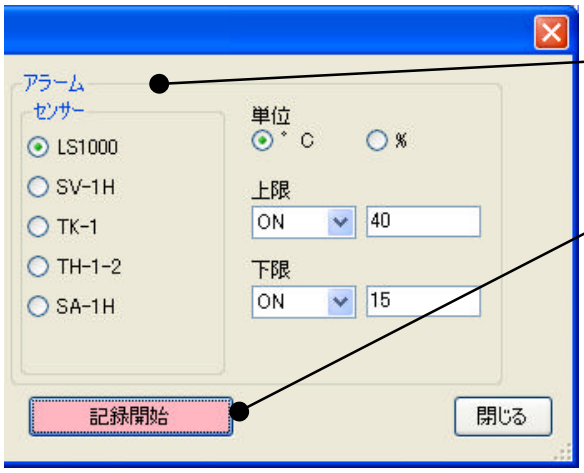


現在日時
現在日時を表示します。

予約 記録開始日時設定
直ちに記録を開始せずに開始日時を指定する場合は
登録する」にチェックを入れ、日時を設定します。

予約 記録終了日時設定
記録終了日時を指定する場合は 登録する」にチェック
を入れ、日時を設定します。

記録間隔
記録間隔を10秒～59秒、1分～240分で設定可能です。

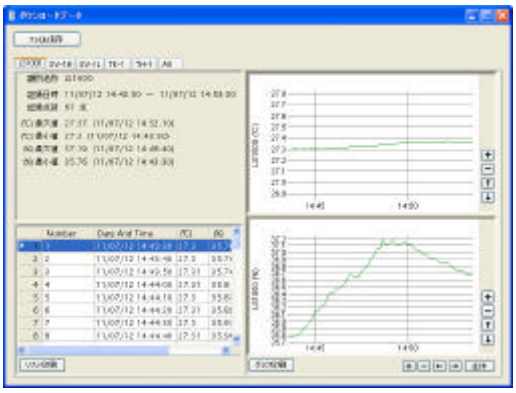


アラーム
センサーと単位を選択し、上限と下限それぞれ
ON／OFFの選択、設定値を入力します。

記録開始／記録開始日時 予約ボタン
・直ちに記録を開始する場合
表示中の設定で直ちに記録を開始します。・
・記録開始日時を予約する場合
表示中の設定で記録開始日時を登録します。

記録開始、または記録開始時間予約をせずに画面を閉じた場合、LS1000の設定は変わりません。

6.3 データ画面



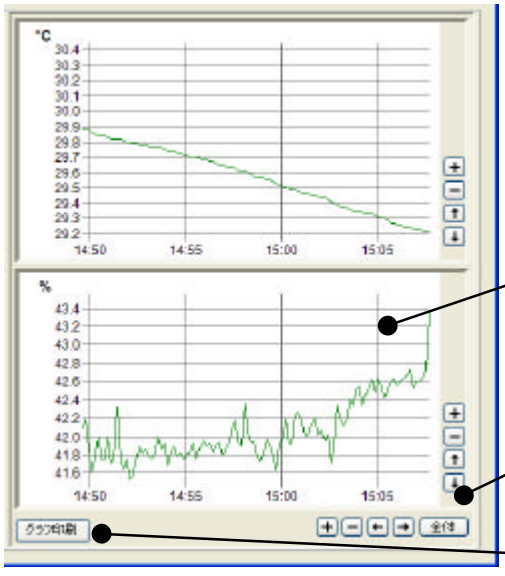
ダウンロードデータやファイルデータを詳細表示します。

ファイル保存ボタン
表示中のデータをファイルに保存します。(csv)
保存したファイルはスプレッドシート等で閲覧可能です。

タブ
センサー別に分けられます。
最後尾の「All」タブには全てのセンサーデータが1つのグラフに表示されます。

リスト表示　(センサー別タブのみ)
データをリスト表示します。
「Reference」にはアラーム発生やエラーのメッセージが表示されます。
データを選択しダブルクリックすると、選択したデータを中心としたグラフが表示されます。

リスト印刷ボタン
リストを印刷します。※リスト印刷画面参照

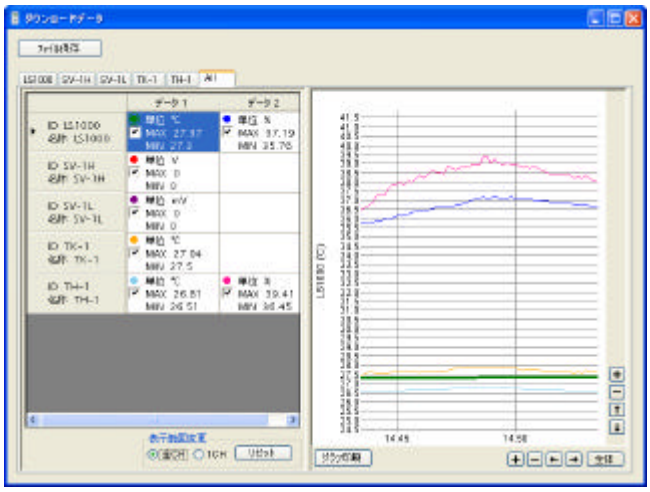


グラフ表示
データをグラフ表示します。
マウスにより表示したい部分を囲むことで、拡大が可能です。

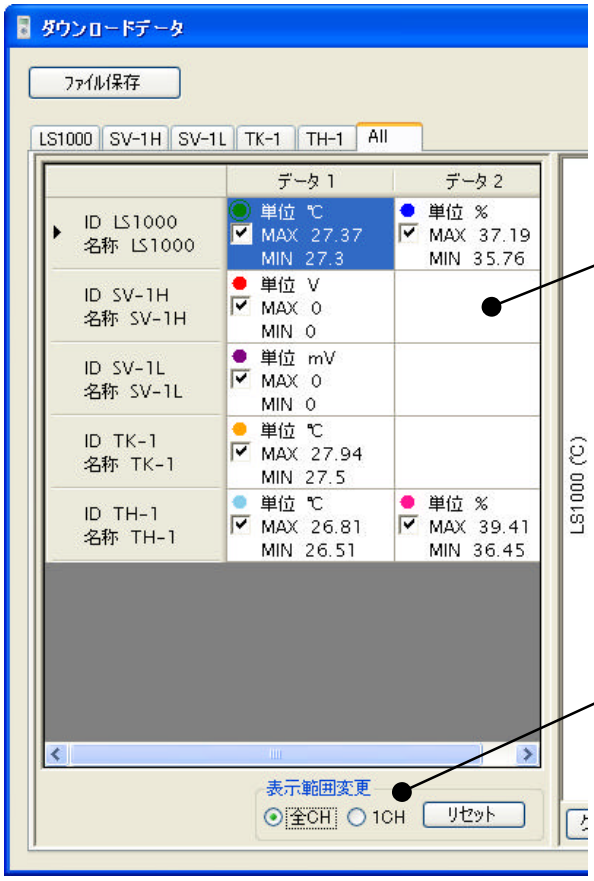
表示範囲変更ボタン
表示範囲を変更します。

グラフ印刷ボタン
グラフを印刷します。※グラフ印刷画面参照

Allタブ



全てのセンサーデータが 1つのグラフに表示されます。



グラフ表示データ一覧

グラフ表示するデータの一覧です。
チェックが入っているデータはグラフ表示中です。
グラフを非表示にするにはチェックを外します。
選択中のデータはグラフが太く表示されます。

表示範囲変更

表示範囲変更ボタンでの表示範囲変更を全てのデータで行うか選択中のデータのみで行うかを選択します。
・全CH　全てのデータの表示範囲を変更
・1CH　選択中のデータのみ表示範囲を変更

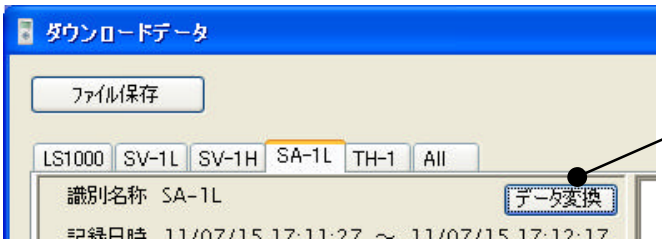
リセットボタン　表示範囲変更をリセットします。

データ変換

データ変換対応外部センサーで取得した値は、任意の単位へ変換できます。

データ変換対応外部センサー

・電圧センサー　：SV-1L / 低電圧（DC±800mV）対応
　　SV-1H / 高電圧（DC±30V）対応
・電流センサー　：SA-1L / 低電流（DC±20mA）対応
　　SA-1H / 高電流（DC±1A）対応



データ変換ボタン
データ変換を行います。

データ変換画面
データ変換を行うには、「変換する」にチェックを入れ、変換前の上限、下限、変換後の単位、上限、下限を入力しOKボタンを押します。

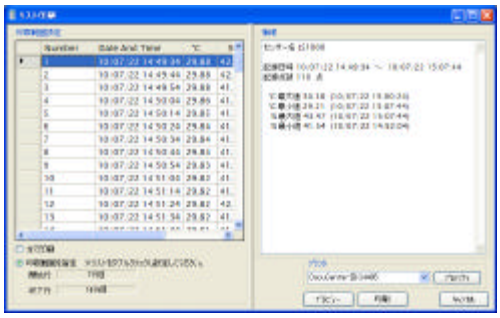
例

	変換前		変換後
単位	mA	→	%
上限	20.00	→	100.00
下限	4.00	→	0.00

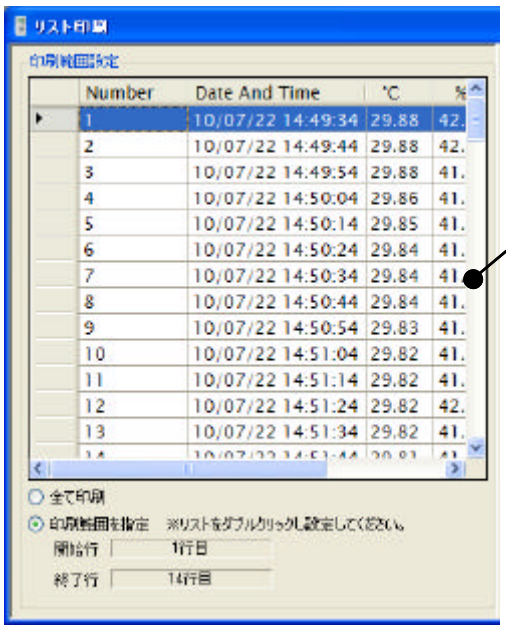
変換前の値	変換後の値
20.00 mA	100.00 %
16.00 mA	75.00 %
12.00 mA	50.00 %
8.00 mA	25.00 %
4.00 mA	0.00 %
0.00 mA	-25.00 %

データ変換を行いファイルに保存されたデータは、LogStick Controller では再び変換を行うことができません。再びデータ変換を行う場合は、変換前の元データを保存してください。

リストI印刷画面



リストI印刷の設定を行います。



印刷範囲設定

印刷範囲を設定します。

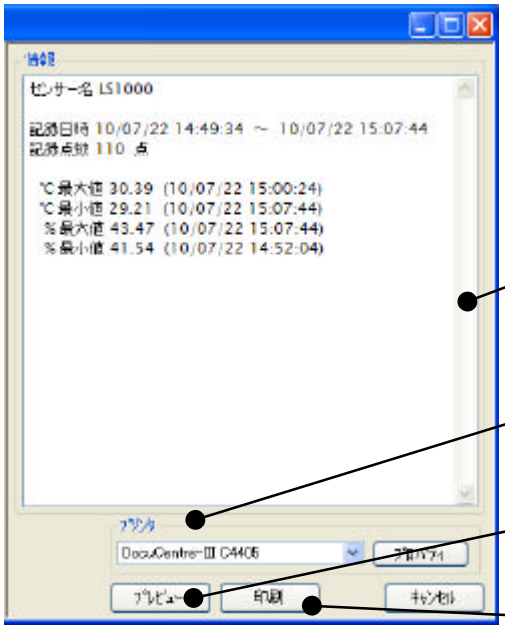
・全て印刷

全てのデータを印刷します。

・印刷範囲を指定

印刷する範囲の開始行と終了行を設定します。

設定はリストをダブルクリックする事により可能です。



情報

印刷されるデータの情報です。

追記が可能です。

プリンタ設定

プリンタを設定します。

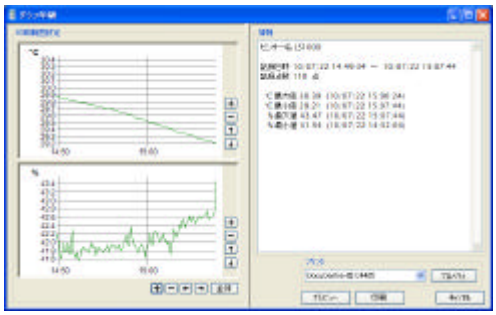
プレビューボタン

印刷プレビューを表示します。

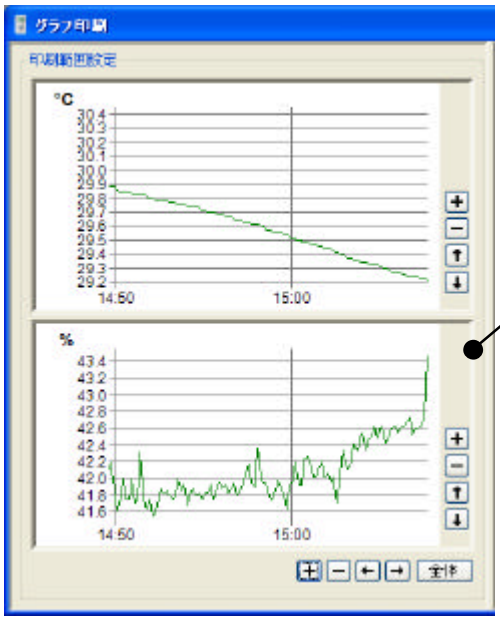
印刷ボタン

印刷を実行します。

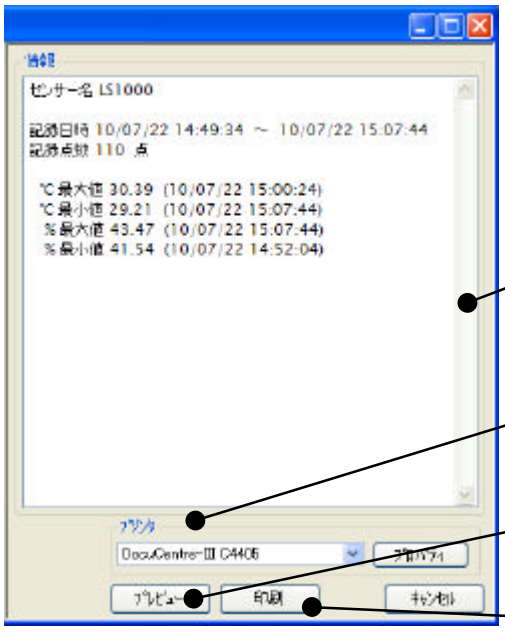
グラフ印刷画面



グラフ印刷の設定を行います。



印刷範囲設定
印刷範囲を設定します。



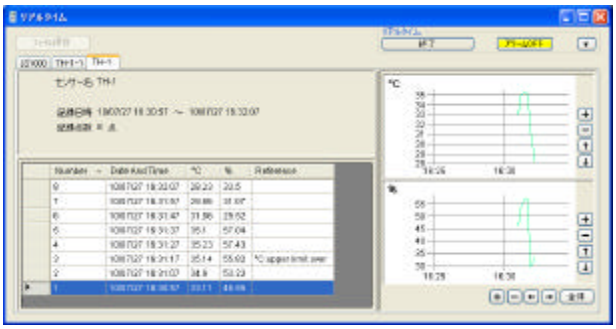
情報
印刷されるデータの情報です。
追記が可能です。

プリンタ設定
プリンタを設定します。

プレビューボタン
印刷プレビューを表示します。

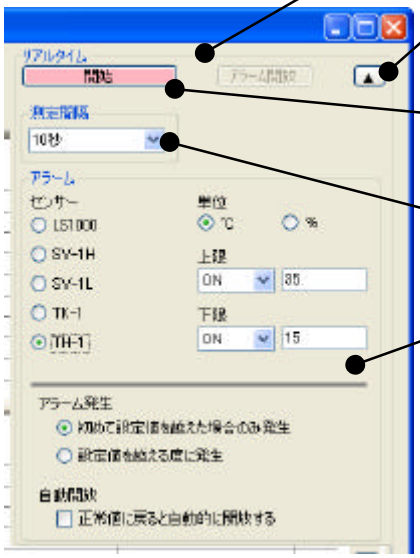
印刷ボタン
印刷を実行します。

6.4 リアルタイム測定



パソコンに接続した状態で現在の測定値を取得し、表示します。
最大6万点記録可能です。
データの表示はデータ画面と同じです。

測定開始前



測定中

リアルタイム設定ボックス
リアルタイム測定の設定を行います。

リアルタイム設定ボックス表示切替ボタン
リアルタイム設定ボックスの全表示と省略表示を切り替えます。

測定開始ボタン
測定を開始します。

記録間隔
記録間隔を10秒～59秒、1分～240分で設定可能です。

アラーム
センサーと単位を選択し、上限と下限それぞれ
ON／OFFの選択、設定値を入力します。

アラーム発生
- 初めて設定値を越えた場合のみ発生
  初めて設定値を越えた場合のみアラームが発生します。
  （上限、下限　それぞれ1回づつ）
- 設定値を越える度に発生
  設定値を越える度にアラームが発生します。

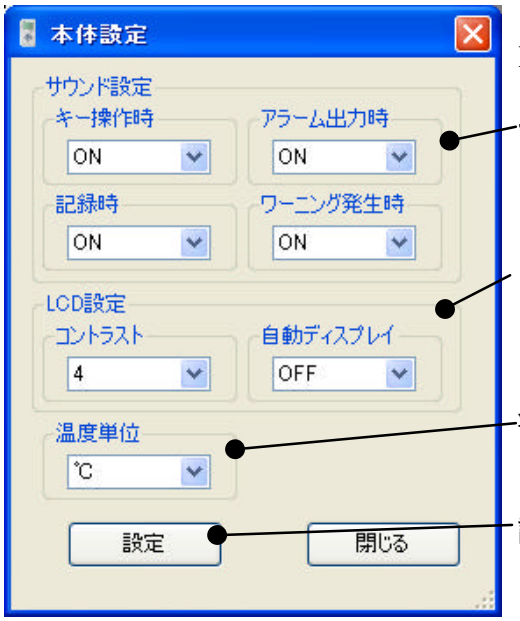
自動開放
- 正常値に戻ると自動的に開放する
  アラーム発生中に測定データが正常値（上限と下限の間）だった場合、自動的にアラーム（接点）を開放します。

アラーム開放ボタン
アラーム（接点）を開放します。
アラームが発生すると有効になります。

測定終了ボタン
測定を終了します。

・ファイル保存ボタン、印刷ボタンは測定終了後有効になります。
・リアルタイム測定中にWindowsが省電力ﾓｰﾄﾞ(ｽﾘｰﾌﾟ/ｽﾀﾝﾊﾞｲ/休止状態)へ移行すると測定が止り、取得データが失われる場合があります。長時間測定する場合はWindowsの省電力機能を解除してください。
コントロールパネル内の省電力設定で設定変更できます。（詳しくはWindowsﾍﾙﾌﾟをご覧下さい。）
・リアルタイム測定を終了すると自動的にアラーム（接点）は開放されます。

6.5 本体設定画面



LS1000の各種設定を行います。

サウンド設定
サウンドのON／OFF設定を行います。
（キー操作時／アラーム出力時／記録時／ワーニング発生時）

LCD設定
・LCDのコントラストを設定します。（1～8）
・自動ディスプレイのON／OFF設定を行います。

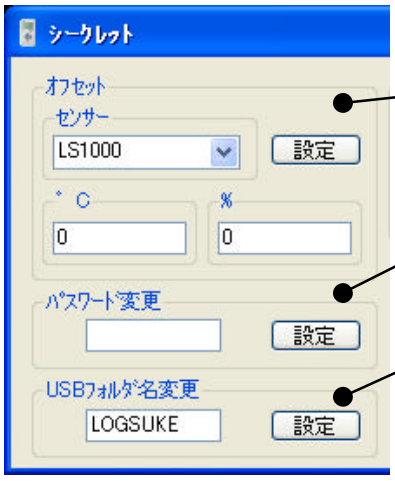
温度単位
温度単位を設定します。（摂氏゜C／華氏゜F）

設定ボタン
表示中の設定を一括送信します。

設定ボタンを押さずに画面を閉じた場合、LS1000の設定は変わりません。

6.6 シークレット画面

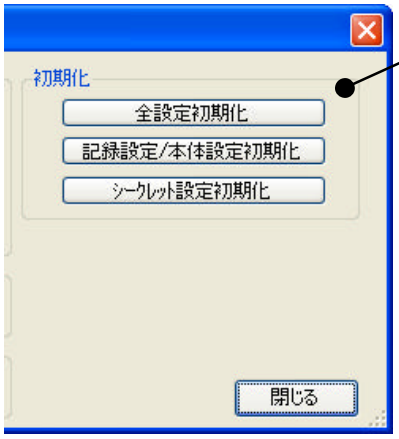
シークレット設定を行います。
シークレット設定にはパスワード入力が必要です。



オフセット
センサーのオフセットを設定します。
センサーを選択し、オフセット値を入力後、設定ボタンを押します。

パスワード変更
新しいパスワードを入力し、設定ボタンを押します。

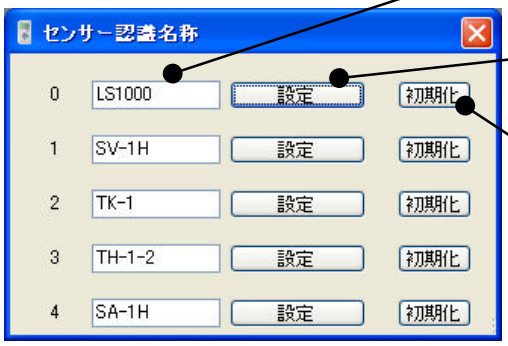
USBフォルダ名変更
新しいUSBフォルダ名を入力し設定ボタンを押します。



初期化
・全設定初期化
LS1000の全ての設定を初期化します。
・記録設定／本体設定初期化
LS1000の記録設定／本体設定を初期化します。
・シークレット設定初期化
LS1000のシークレット設定を初期化します。

6.7 センサー認識名称画面

センサーの認識名称を設定します。



認識名称入力ボックス
新しい認識名称を入力します。

設定ボタン
入力した認識名称を設定します。

初期化ボタン
認識名称を初期状態に戻します

6.8 メイン画面　メニュー

●ファイル
・データファイルを開く　- 保存済みのデータファイル（csv）を開きます。
・終了　- LogSuke Controllerを終了します。

●ウィンドウ
・整列　- 表示中のウィンドウを整列します。
・重ねて表示　- 表示中のウィンドウを重ねて表示します。

●バージョン
・アプリケーションバージョン　- LogSuke Controllerのバージョンを表示します。
・OMC Webページ　- 規定のブラウザからOMC Webページを開きます。

●コントロールパネル表示　- コントロールパネルを表示します。

7 動作環境

[対応OS]　Microsoft Windows 7 日本語版 (32bit)
Microsoft Windows Vista 日本語版 + SP1 (32bit)
Microsoft Windows XP 日本語版 + SP2以上 (32bit)

[PCスペック]　上記OSがストレス無く動作すること

[画面解像度]　800×600以上